

DLC-120

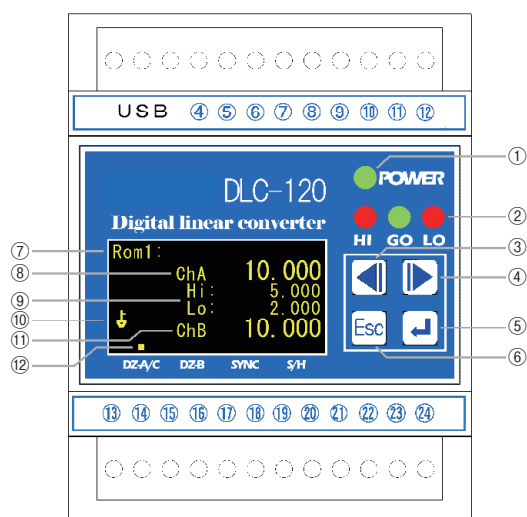
高機能コンパレータ
(アナログ出力センサ用)

- 高機能&簡単設定
- アナログセンサをフル活用
- これ1台で各種演算測定や、波形測定、データ収集(CSV形式)も可能
- 高速サンプリング(62.5 μ s)
- 見やすい有機EL液晶表示パネル採用

種類／価格

品名	操作電源	入力	出力モード	型式	価格(¥)
アナログコンパレータ	DC12V	アナログ入力 0～10V	アナログ出力(2出力) フォトモス出力(3点)	DLC-120-12	オープン価格 (お問い合わせください)
	DC24V			DLC-120-24	

パネル面表示と機能



番号	名称	機能
①	電源表示灯	電源投入時に点灯します
②	比較判定表示灯	コンパレータ設定値との比較判定結果を表示します
③	レフトキー	各種設定の選択・変更・DZ制御時に使用します※1
④	ライトキー	各種設定の選択・変更・DZ制御時に使用します※1
⑤	エンターキー	各種設定の決定時に使用します
⑥	エスケープキー	各種設定の退避時に使用します
⑦	Romセレクト表示	使用中の設定データのRom番号を表示します
⑧	測定値表示 ChA	ChAのアナログ出力値を表示します※2
⑨	設定値表示	HI・LOのコンパレータ設定値を表示します
⑩	キーロック表示	キーロックが有効な場合、測定画面時にキーロックアイコンを表示します
⑪	測定値表示 ChB	ChBのアナログ出力値を表示します※2
⑫	制御ステータス表示 オペレートレベル表示	測定画面時は、動作中の制御機能を表示します 設定画面時は、設定されたオペレートレベルを表示します

※1 DZ制御については、制御方法にパネル操作のキー入力を選択した場合に有効になります。
 ※2 ChAとChBの値を演算した場合は、ChAのみの表示になり演算結果が表示されます。

DLC-120

仕様

型 式	DLC-120-12	DLC-120-24
操 作 電 源	DC12V $\pm 10\%$ 以下	DC24V $\pm 10\%$ 以下
消 費 電 流	150mA 以下 (DC24V 時)	
動 作 方 式	逐次比較方式 サンプリング62.5 μ sec 約16KHz	
平 均 値 処 理	単純平均、移動平均、選択 2 ~ 1024 回	
アナログ入力	ChA、ChB 入力 0 ~ 10V (14bit)	
アナログ出力	ChA、ChB 出力 -10 ~ +10V (16bit)	
デジタルリニア	ChA、ChB 共通 (最大 21 点) 各チャンネル 4 パターンメモリ	
コンパレータ出力	Hi、Go、Lo、各フォトモス出力 60V 1A NO・NC 切換	
機 能	ホールド	ボトム、ピーク、振れ幅選択・SYNC (同期) 短絡または解放時測定
	デジタルゼロ	入力およびホールド値をゼロ (DZA、DZB) 演算値をゼロ (DZC)
	演 算	A \pm La、B \pm Lb、A+B \pm Lc (選択)
	スタートホールド	表示および出力保持
通 信 機 能	専用ソフト (無償) インストール済みパソコンと USB 経由で接続 1. DLC-120 各パラメータ設定 2. リニアライズおよび最大出力電圧設定 3. リアルタイムで測定値、測定波形の観測 4. ログデータ保存 (CSV 形式)	

出力変換ユニット

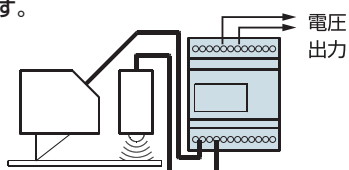
パワーユニット

コンパレータ

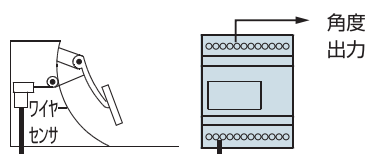
リニアライズ機能 非線形出力を線形出力に補正可能 (最大 21 ポイント ChA ChB)

用途例

- ①異なる 2 台のセンサ出力をリニア補正とスケールングで、測定に必要な電圧出力に加工することで、計測処理が容易になります。



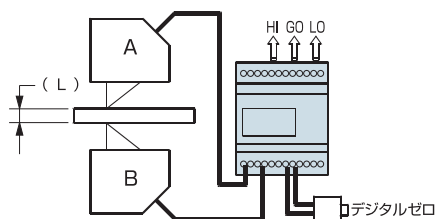
- ②車のアクセルペダルの開度をワイヤセンサで変位を測定し、角度に変換して出力します。



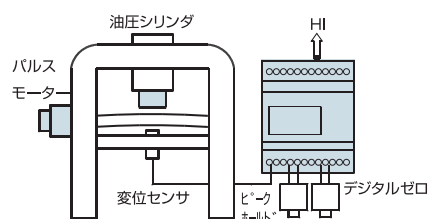
デジタルメータリレー機能 上下限設定、ホールド(ボトム、ピーク、ピークtoピーク)、デジタルゼロ、演算

用途例

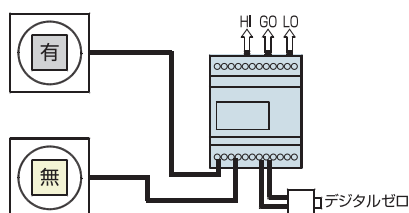
- ①厚み測定演算 A+B+Lc デジタルゼロで簡単に設定可能厚さ測定と公差の良否判定が可能です。



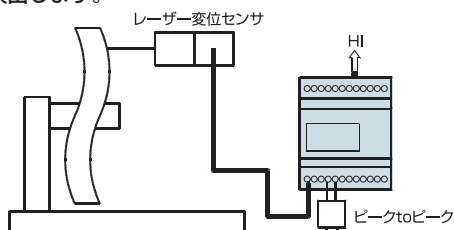
- ②シャフトの修正ピークホールド、デジタルゼロ、コンパレータ出力を使用し、修正位置の割り出しが可能です。



- ③焼入れの有無検出演算 A - B デジタルゼロで A と B の差を演算して焼入れの微小な差を検出します。

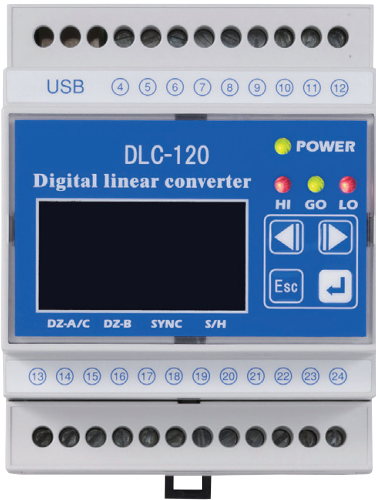


- ④振れ幅測定ピーク to ピークホールドで回転体の回転振れを検出します。



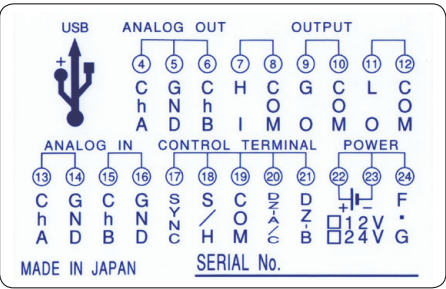
DLC-120

■ 接続方法

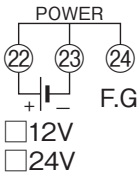


端子台最大使用電線 単線 2.1mm² AWG14
撚線 3.3mm² AWG12

電源接続の23番の一端子は、その他のGND端子及びCOM端子とは絶縁されています。コンパレータ出力接続の8・10・12番のCOM端子は、独立しており共通ではありません。上記3つのCOM端子は、制御信号接続の19番のCOM端子とは絶縁されています。



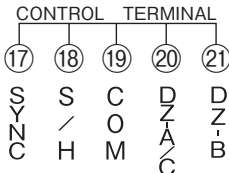
4-1 電源接続



端子番号	名称	機能
22	+	DC 電源 +
23	-	DC 電源 -
24	F.G	フレームグランド

端子シールのDC12V・DC24Vの欄に、チェックが入っている方の電源を接続してください。DC電源の一端子は、その他のGND端子及びCOM端子とは絶縁されています。フレームグランド端子は、接地してください。

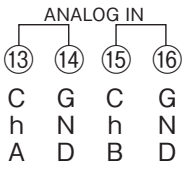
4-3 制御信号接続



端子番号	名称	機能
17	SYNC	ホールド同期
18	S/H	スタート/ホールド
19	COM	制御用 COM
20	DZ-A/C	ChA デジタルゼロ
21	DZ-B	ChB デジタルゼロ

各制御端子をCOM端子に短絡または開放することにより、機能が有効になります。短絡時有効・開放時有効の選択は、パネル操作またはパソコンにより設定します。工場出荷時は全ての機能が無効(デジタルゼロについては、パネル操作による制御が有効)になっていますので、パネル操作またはパソコンにより機能を有効にしてください。

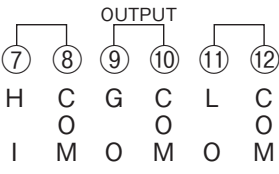
4-2 入力信号接続



端子番号	名称	機能
13	ChA	ChA 入力 +
14	GND	ChA 入力 GND
15	ChB	ChB 入力 +
16	GND	ChB 入力 GND

ChA・ChBの各入力には、0～10Vの範囲の電圧を入力してください。範囲外の電圧が入力された場合は、表示パネルには入力変換の下限値または上限値が表示された状態になります。最大許容入力を超える電圧が印加されないように注意してください。

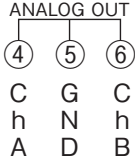
4-4 コンパレータ出力接続



端子番号	名称	機能
7	HI	HI 出力
8	COM	HI COM
9	GO	GO 出力
10	COM	GO COM
11	LO	LO 出力
12	COM	LO COM

8・10・12番のCOM端子は、独立しており共通ではありません。工場出荷時は、出力極性がノーマルクローズになっていますので、ノーマルオープンにする場合は、パネル操作またはパソコンより設定してください。定格を超える電圧・電流が印加されないように注意してください。

4-5 アナログ出力接続

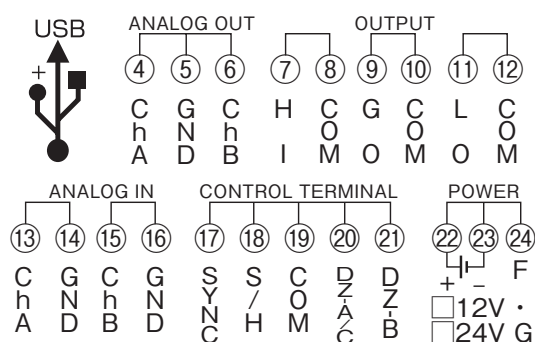


端子番号	名称	機能
4	ChA	ChA 出力 +
5	GND	ChA・ChB出力GND
6	ChB	ChB 出力 +

±10Vの範囲内において、最大10Vの電圧幅で出力します。5番のGND端子を共通で使用してください。

DLC-120

端子配列



端子番号	名 称	機 能
④	ChA	ChA 出力 +
⑤	GND	ChA・ChB 出力GND
⑥	ChB	ChB 出力 +
⑦	HI	HI 出力
⑧	COM	HI COM
⑨	GO	GO 出力
⑩	COM	GO COM
⑪	LO	LO 出力
⑫	COM	LO COM
⑬	ChA	ChA 入力 +
⑭	GND	ChA 入力 GND
⑮	ChB	ChB 入力 +
⑯	GND	ChB 入力 GND
⑰	SYNC	ホールド同期
⑱	S/H	スタートホールド
⑲	COM	制御用 COM
⑳	DZ-A/C	ChA デジタルゼロ
㉑	DZ-B	ChB デジタルゼロ
㉒	+	DC電源 +
㉓	-	DC電源 -
㉔	F・G	フレームグランド

外形寸法図 (単位 : mm)

DLC-120-12
DLC-120-24

